

令和4年度 山口大学における教育の内部質保証に関する自己点検・評価結果による改善事項及び改善策

●教育課程

No ○は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (6-4-4)	一部の学部において、教育上主要と認める科目うち複数の科目を非常勤講師が担当している状況にある	教員の採用状況も踏まえ、対応が可能な科目から専任の教授・准教授が担当する体制を整備する。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	教員の採用状況も踏まえ、対応が可能な科目から専任の教授・准教授が担当する体制を整備すること。
2 (6-5-3)	一部の研究科において、さらなる在籍学生のニーズを踏まえた社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取り組みが必要である。	授業内での対応や個別の学生に合わせた対応ができる環境を整える体制整備を行う。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	授業内での対応や個別の学生に合わせた対応ができる環境を整える体制整備を行うこと。
3 (6-5-4)	一部の研究科において、障害のある学生の入学がないため支援体制の整理ができていない。	関係学部での事例をもとに障害のある学生への対応等のシミュレーションを行い支援体制の確認及び整備を行う。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	関係学部での事例をもとに障害のある学生への対応等のシミュレーションを行い支援体制の確認及び整備を行うこと。
4 (6-6-3)	一部の研究科において、成績評価の分布等を組織的に確認できていない。	「成績評価等に関するガイドライン」に基づき、教育課程責任者のもと、成績評価の分布が適切であるか確認を行う。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	「成績評価等に関するガイドライン」に基づき、教育課程責任者のもと、成績評価の分布が適切であるか確認を行うこと。
5 (6-8-1)	一部の学部・研究科において、修業年限×1.5年以内卒業（修了）率が基準に満たない年度がある。	学生ケア体制、修学支援指導体制、進路指導体制及び研究指導体制等の充実や研究の進捗の状況の定期的な確認等を行い改善に努める。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	学生ケア体制、修学支援指導体制、進路指導体制及び研究指導体制等の充実や研究の進捗の状況の定期的な確認等を行い改善に努めること。

6 (6-8-2)	教育学部においては、学部が掲げる教員就職率の目標値に達していない。	教育学部において、臨時的任用まで含めた教員就職率の向上の取り組みを実施し、学部が掲げる目標値に達するよう改善に努める。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	教育学部において、臨時的任用まで含めた教員就職率の向上の取り組みを実施し、学部が掲げる目標値に達するよう改善に努めること。
7 (6-8-4)	一部の研究科において、修了後一定期間の就業経験を得た修了生からの意見聴取の結果を踏まえた学習成果の確認について、全学的に実施している「卒業後・修了後のキャリア形成に関するアンケート」の設問項目の不足によりその結果の確認が不十分である。	「卒業後・修了後のキャリア形成に関するアンケート」の設問項目を見直すとともに、全学アンケートの結果を踏まえ、各部局においてアンケート結果の確認及び意見交換をFDとして実施する。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	「卒業後・修了後のキャリア形成に関するアンケート」の設問項目を見直すとともに、全学アンケートの結果を踏まえ、各部局においてアンケート結果の確認及び意見交換をFDとして実施すること。

●学生支援・受入

No <small>○は大学機関別 認証評価の分析 項目番号</small>	改善事項	対応状況及び改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (5-2-2)	入試委員会及び大学院入試委員会において入試の総括は実施されているが、実際の学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかの具体的な検証やその結果を入学者選抜の改善に役立てる必要がある。	学部及び大学院ともに入学時調査等の結果を活用・分析し、学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかの検証を行い、入学者選抜の改善に役立てる取り組みを行うこと。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	学部及び大学院ともに入学時調査等の結果を活用・分析し、学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかの検証を行い、入学者選抜の改善に役立てる取り組みを行うこと。
2 (5-3-1)	教育学研究科専門職学位課程、医学系研究科博士後期課(保健学専攻)創成科学研究科修士課程(山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻)及び創成科学研究科博士後期課程(自然科学系専攻及び物質工学系専攻)においては、入学定員に対する実入学者の割合の平均が0.7倍未満であり、入学定員を大幅に下回る状況である。また、共同獣医学研究科においては、入学定員に対する実入学者の割合の平均が1.3倍以上であり、入学定員を大幅に上回る状況であり、改善の必要がある。	入学定員管理について、大学院入試委員会において、入学定員管理の適正化を図る取組を行うとともに、10月入学の結果を踏まえ改めて状況を把握し分析をした上で報告すること。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	大学院入試委員会において、各研究科の入学定員管理の状況等について確認を行うとともに、実入学者数が入学定員を大幅に超える(1.3倍以上)、又は大幅に下回る(0.7倍未満)の場合は、その適正化を図る取り組みを行うこと。

●教職課程

No ○は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	対応状況及び改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (2-2)	ICTの活用指導等に関する科目は適切に配置されており、パソコンをはじめとした ICT 機器の基本的な活用能力の育成は図られている一方で、学校現場と大学の授業ではその活用方法に乖離がある。	昨今の学校現場では、生徒の意見や学習成果を集約する等の学級集団として ICT 機器が活用されていることに対し、大学の授業では、学生個人の使用に限られることが多いため、大学の授業においても Google Classroom 等の学校現場で使用されているソフトの活用を教職関係会議や FD 等を通じて促進していく必要がある。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	昨今の学校現場と大学の授業の ICT の活用方法の乖離をなくすため、大学の授業においても Google Classroom 等の学校現場で使用されているソフトの活用を教職関係会議や FD 等を通じて促進していくこと。
2 (7-1)	学部・研究科によって、教育委員会や各学校等関係機関等との連携・交流の捉え方に認識の差が生じている。	教職課程においては、関係機関との連携・交流が強く求められているため、FD 等を通じ連携・交流の捉え方や認識の共有を行い、学部等でその検討促進を図る必要がある。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (教育学生担当)	教育委員会や各学校等関係機関との連携・交流の捉え方を FD 等を通じ認識を共有するとともに、学部等でその検討促進を図ること。

●教育設備（ICT）

No ○は大学機関別 認証評価の分析 項目番号	改善事項	対応状況及び改善案	計画の 進捗状況	推進責任者	改善策
1 (1)	通信環境の改善を実施する必要がある	医学部を対象に無線機器の交換を行い、引き続き通信環境の改善を行う。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (情報化推進担当)	医学部を対象に無線機器の交換を行い、引き続き通信環境の改善を行うこと。
2 (2)	学内ネットワーク装置等の整備について、部局の整備状況は「一部取組されている」を含めると80%の部局で取り組みが行われているが、整備計画までは進んでいない。	部局が管理している学内ネットワーク装置について、全部局で整備されるよう整備計画を策定し取り組んでいくこと。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (情報化推進担当)	部局が管理している学内ネットワーク装置について、全部局で整備されるよう整備計画を策定し取り組んでいくこと。
3 (3)	教育用システム等の整備について、部局所有の演習室にある端末では更新ができていない等、一部支障が出ている。	部局が所有している教育用システム等の整備についても、管理体制の見直しや端末の更新等を実施すること。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (情報化推進担当)	部局が所有している教育用システム等の整備についても、管理体制の見直しや端末の更新等を実施すること。
4 (4)	セキュリティ対策の必要なサーバーについて把握され、随時新しいサーバーへ移行されているが、一部暗号化通信対応しておらずセキュリティ対策等が十分とられていない。	セキュリティ対策の必要なサーバーについて、新しいサーバーに完全移行し暗号化通信を行うこと。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	副学長 (情報化推進担当)	セキュリティ対策の必要なサーバーについて、新しいサーバーに完全移行し暗号化通信を行うこと。